

相互交流型授業・保育と 対話能力

交流型授業を成り立たせ、
話し合いを「深め合い」に発展させるために不可欠となる
対話能力の意図的・系統的指導について

講師：村松賢一先生

(元本学教授 スピーチコミュニケーション教育研究所主宰)

1964年一橋大学商学部卒業後、NHKにアナウンサーとして入局。主に、教育、教養番組を担当し、「話しことば講座」の制作にも従事。1989年財団法人・NHK放送研修センター日本語センターに出向。ビジネスマン、教師、一般社会人のスピーチコミュニケーション研修に携わる。

1995年からお茶の水女子大学に移り、外国人留学生に対する日本語教育、日本人学生向けのスピーチコミュニケーション論、日本語音声学、異文化コミュニケーション演習等を担当。

2003年スピーチコミュニケーション教育研究所創設。

著書：『面接の極意』祥伝社1992

『対話能力を育む話すこと聞くことの学習—理論と実践』明治図書2001

『できる教師の「話し方・聞き方」』明治図書2005 等

2013年9月10日(火) 16:30～

場所：附属小学校

出席ご希望はinfo-gakko@cc.ocha.ac.jpまで

①氏名 ②ご所属 ③参加予定人数をお知らせ下さい。参加費：無料

問い合わせ お茶の水女子大学 学校教育研究部

〒112-8610 文京区大塚2-1-1 tel 03-5978-5828

ホームページ <http://www.cf.ocha.ac.jp/sesd/index.html>